

新製品ニュース



サイネージ用に最適な、大型リア透過型電動スクリーン

「NEW インフォショット」オーエスから新発売

株式会社オーエス（本社：大阪、代表：奥村正之）は、サイネージ向けに、透明な幕面を持つリア透過型スクリーン「インフォショット」を本日9月25日（火）より受注を開始いたします。

インフォショットは電動巻取り型のスクリーンです。プロジェクターの映像を透過側からも、投写側からもほぼ同等の映像を映し出すことが可能なスクリーン（※1）で、通路の天井から下げるように設置したり、ショーウィンドウのガラス面に下げる、あるいは公共スペースのパーティション代わりに映像幕にと、様々なシーンや用途でご利用いただけます。

多くのリアスクリーンは、プロジェクターを幕面に対しなるべく垂直に投写しなければならない、等の制限がありますが、インフォショットの幕面は、投写角度の制約が少なく設置位置の自由度が高くなります。そのため超短焦点プロジェクターの極端な打ち込み角に対しても良好な画質を映し出すことが可能です。（※2）小型店舗のショーウィンドウから公共スペースのシーリングPOP等として、様々な使用環境にご利用いただけます。スクリーンの機構は、オーエススクリーンの中心であるパネルタイプのPセレクションを採用するため、長期にわたり安心してお使いいただけます。

※1. 投写された映像は、表と裏で反転画像となります。

※2. 超短焦点プロジェクターの静止画像はゆがみが目立つ可能性があります。

商品名：インフォショット

生地記号：RT601、RT602、RT603

機構型式：SEP（電動スクリーン型式）

希望小売価格：オープン

受注開始予定日：9月25日（火）



ホテルバンケットにて展示



電動巻取り型リアスクリーンインフォショット
SEP-RT603（グレータイプ）

【インフォショットの特長】

- 電動巻取り型透過スクリーン。
- 透明タイプ(RT601)、ホワイトタイプ (RT602)、グレータイプ(RT603)の3種の生地から選択。
(下記詳細参照)
- プロジェクター投写をしていないときには収納しておくことができるため、ウィンドウや室内の景観を妨げない。
- 上部に透明生地を採用したため、設置現場に合わせ高さ調整がしやすく、映像が宙に浮いたような演出が可能。
- オーエス信頼の SEP の機構を採用。赤外線リモコンによるリミット（スクリーン位置）調整など、SEPの特長をそのまま継承。
- 80型から200型まで6タイプをラインナップ。

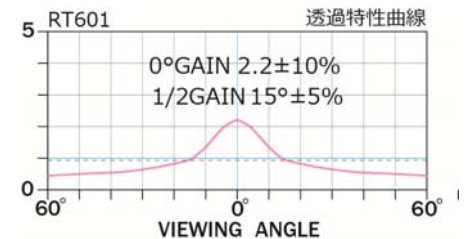
※巻取り型以外にも、アクリル板やガラスに直接張れる粘着タイプもあります。超短焦点プロジェクターの導入をお考えの場合には最適な平面性を得られます。(生地記号：RT611、RT612、RT613)

【3種の生地の特長】

■ RT601（透明タイプ）ゲイン 2.2

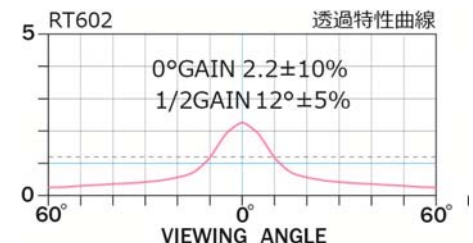
透明タイプのために映像を投写しない時にも、周囲との差を感じないため、頻繁に昇降しない使い方に適しています。

周囲の背景の中に映像が浮き出る不思議な効果が期待できます。



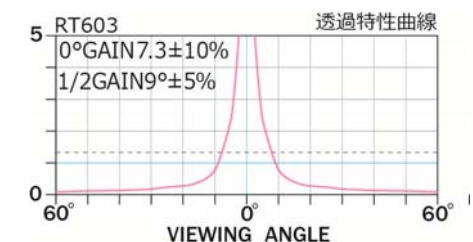
■ RT602（ホワイトタイプ）ゲイン 2.2

ホワイトタイプのため、投写映像の後ろのお店の中や、壁面などが透過しないので見えにくく映像が浮き出ます。映像を投写していない時には、白い幕面が目立ちますので、巻き上げが必要です。



■ RT603（グレータイプ）ゲイン 7.3

透明タイプ、ホワイトタイプの明るさの約3倍の輝度を持つスクリーン。照明等の明かりが邪魔な場合や、設置場所が明るい場合などに効果があります。視野角が狭くなるため、スクリーン正面以外は映像が白っぽくなります。



【インフォショットのラインナップ】 下記の表はHD(16:9)サイズです。NTSC(4:3)サイズも可能です。

スクリーン機構型式	スクリーンサイズ W×H(mm)	外形寸法 W×D×H(mm)	全高(mm)	製品質量(kg)
SEP-080HN-TWW1	1871×1046	2111×122×142	2270	11.8
SEP-100HN-TWW1	2314×1295	2554×122×142	2270	13.7
SEP-120HN-TWW1	2757×1544	2997×122×142	2270	15.6
SEP-150HN-TWW1	3421×1918	3668×134×152	2598	22.0
SEP-170HN-TWW1	3864×2167	4111×155×170	2865	39.2
SEP-200HN-TWW1	4588×2571	4835×155×170	3269	46.2

※全て電動です。全ての機種で3種類からお好きな生地を選ぶことができます。120型以上のサイズには継ぎ目が入ります。

株式会社オーエス <http://jp.os-worldwide.com>

「製品に関するお問合せ先」

コンタクトセンター 東京都足立区綾瀬 3-25-18

TEL.0120-380-495 FAX.0120-380-496 E-mail info@os-worldwide.com

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

「本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者」

株式会社オーエス 東京都足立区綾瀬 3-25-18 マーケティングチーム 藤枝 昭

TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

「株式会社オーエス 会社概要」

名称：株式会社オーエス <http://jp.os-worldwide.com>

本社：大阪市西成区南津守 6-5-53 オーエス大阪ビル

本部：東京都足立区綾瀬 3-25-18 オーエス東京ビル

創業：昭和 28 年 4 月

資本金：4608 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：オーエススクリーンのブランドで文教・企業向けに数多くの製品を提供。スクリーンばかりでなく、プロジェクター、薄型ディスプレイハンガー等を活用したコミュニケーションシステムの構築。ウォールバック開閉や、ハンガー・バトン昇降・カーテン開閉などをはじめとした装置類の開発・設計・施工からトータルコントロールシステムまで、一貫したソリューションを提供する。

営業所：仙台、北関東・新潟、首都圏、中部、北陸、近畿、広島、福岡

北海道地区販売代理店：東和 E&C 株式会社

沖縄地区販売代理店：株式会社オーエスビー沖縄

「関連企業」

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエスプラス e 本社：東京都足立区 http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

株式会社次世代商品開発研究所本社：大阪市西成区 <http://jp.os-worldwide.com/njmc/>

株式会社オーエスビー沖縄 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. : 香港 <http://hk.os-worldwide.com/>

奥爱斯商贸(北京)有限公司 : 中華人民共和国 <http://www.os-worldwide.com.cn/>

「日本総販売代理店」

Optoma(台湾) / 世界トップクラスの DLP プロジェクターメーカー

Vogel's (オランダ) / フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH (イタリア) / THX、ISF 公認のサウンドスクリーン

AV Stumpfl (オーストリア) / 画像処理技術で世界的に定評あるメーカー